

2021年1月29日
特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

ONE URAYASU !

千葉県浦安市を活動拠点とするスポーツチームとの協働

1月31日(日曜)、コロナ禍で長期療養の子どもたちの支援活動実施

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan(所在地:東京都世田谷区、理事長:北野華子)は、小児がんをはじめ、長期療養を必要とする子どもたちにスポーツを通じて最高の子ども時代「青春」を創出する活動に取り組んでいます。この度、千葉県浦安市を活動拠点に置く、ラグビーチーム「NTT コミュニケーションズシャイニングアークス」、サッカーチーム「プリオベッカ浦安」との協働が決定し、今後、長期療養中の子どもたちの支援活動に取り組んでいくこととお知らせ致します。

第一弾の活動として、新型コロナウイルスの流行により、外出制限がある自宅療養中の子どもたちときょうだいの「ひと社会」との接点をつくるオンライン交流活動を1月31日に実施することとお知らせ致します。



今回、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用し、新型コロナウイルスの流行に伴い、リアルの対面が制限される長期療養の子どもたち同士が交流する機会をアスリートとともに創出し、一人で頑張る治療生活ではなく、仲間と一緒に過ごす療養生活をオンラインで支援します。

1月31日にNTT コミュニケーションズシャイニングアークス、並びにプリオベッカ浦安に所属する4名の現役選手にご協力をいただき、長期療養中の子どもたちと選手がオンラインで交流します。

「長期療養児とアスリートが交流できるオンライン事業」は、みてね基金に助成をしていただき、活動を実現しています。

実施概要

【実施日】	2021年1月31日(日曜) 10:30~11:30
【参加チーム/アスリート】	NTTコミュニケーションズシャイニングアークス / ブリオベッカ浦安
【場所】	オンライン zoom での交流
【主催団体】	特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan
【プログラム内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・選手と子どもたちの交流促進を目的としたジェスチャーゲーム ・選手と子どもたちによる3択クイズゲーム対決 ・子どもたち・選手との質問タイム

取材に関して【事前申込必須】

ご取材いただける記者様は、恐れ入りますが**事前に当団体まで必ずお問い合わせ・申請をいただけますようお願いいたします。**万が一、取材趣旨が団体、お子さんやご家族の意向に沿わない場合には、お断りさせていただくこともございますのでご了承ください。

当日は、当団体より活動の様子をライブでご覧いただける URL (限定公開) をお送りさせていただきます。活動後に主催団体、選手、チームへの直接取材の機会をオンライン上で設けさせていただきます。活動の写真や動画に関しまして、団体より掲載可能な内容を共有させていただきます。

【参考写真】過去に実施したオンラインプログラムの様子



■Being ALIVE Japan がオンライン事業に取り組む背景

新型コロナウイルスの流行に伴い、感染拡大を防ぐ目的で現在、小児医療現場では家族面会の制限又は禁止、外出・外泊の制限や禁止、病棟プレイルームでの遊びや病棟イベントの中止等、子どもたちの療養生活を支える「ヒト」「社会」との接点が極力制限されています。また重症化のリスクが高い自宅療養中の子どもたちも、外出制限や同世代との交流が限られており、緊急事態宣言の解除後も長期的に制限のある日常と一人で頑張る療養生活が続いていく現状があります。

Being ALIVE Japan では 2015 年より、アスリートやスポーツチームと連携し、病院や地域社会の中で長期療養中の子どもたちに対し、スポーツを通じた支援を実施してきました。構築してきたアスリートやスポーツチームとの関係と実績を活かし、2020 年 5 月、子どもたちの長期療養生活を支え合う関係を構築することを目的としたオンライン事業を試験的に運用開始し、6 月より「みてね基金」に助成していただき、本格的に活動を実施しております。

小児医療現場でのオンライン支援の導入と普及をはじめ、アスリートとの交流を通じて、全国の長期療養中の子どもたちをつなぎ、支え合うコミュニティを創出することに貢献したいと考えています。

■NTT シャイニングアークスにつきまして

2018年4月より、新たに千葉県浦安市に拠点を置くラグビーチームです。弊部は創部当初から、2つの「V」(Victory & Value)を合言葉に、チーム使命の一つとして様々な社会貢献活動に取り組んでまいりました。そしてこの度、特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan 様の活動理念に賛同し、活動支援ならびに広報への協力を開始いたします。チームとして賛同し、ともに活動できることを大変嬉しく思います。子供たちと楽しく触れ合い、彼らのチャレンジに際し、少しでも前向きな頑張るエネルギーを与えることができれば幸いです。また、私たちも彼らから沢山吸収して、今後に活かしていきたいと思っております。スポーツの力で、未来ある子どもたちに夢と希望を与えられるよう、浦安市のスポーツチームが一丸となって取り組んでまいります。

■プリオベッカ浦安につきまして

プリオベッカ浦安は、1989年より設立された千葉県浦安市を中心に活動しているサッカークラブです。幼児から大人のカテゴリーがある総合型クラブとして、スポーツの持つ価値と力を最大限発揮し、所属する選手だけではなく、地域とともに、ピッチ内外で成長・向上させていこうと活動しております。我々のクラブは、サッカーだけではなく、サッカーを通じて心体技の『心』を重視した人づくりができるよう「心」の価値を大切にしており、この度、特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan の活動にクラブとして賛同いたしました。今後、将来多岐に渡って活躍・チャレンジする子どもたちに、スポーツの力を通じて、子どもたちの社会参加、また青春や自立に必要な仲間の存在づくりなど、共に成長することを目指して、浦安市をホームタウンに置くラグビーチーム「NTT コミュニケーションズ シャイニングアークス」と、スポーツの垣根を越えて地域での共同をしてきたいと思っております。

■特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

2015年4月より、入院中の子ども向けのスポーツ活動の提供をはじめ、2016年2月に特定非営利法人化。難病や慢性疾患、長期的に治療・療養を必要とする子どもの青春と自立を支援することを目的に、地元アスリートやスポーツチームと連携し、子どもたちとご家族を支え応援する存在「TEAMMATES」を地域社会に増やす活動をしています。現在までにスポーツチームとのマッチング事業「TEAMMATES」、病院・地域の中で長期療養児のスポーツ活動の提供と普及をしています。また新型コロナウイルスの流行に伴い、ひとや社会との接点が極力制限のある入院治療中の子どもたち、及び自宅で長期療養生活を必要とする子どもたちのオンライン支援をアスリートやスポーツチームと協働し、2020年5月より定期的に取り組んでいる。

■「みてね基金」が助成

「長期療養児とアスリートが交流できるオンライン事業」は、みてね基金に助成をいただき、活動を実現しています。活動当日、多くの入院中の子どもたちがアスリートと交流できるよう、事業に必要なタブレットと周辺機器等、交流に必要な備品購入や病院への機材郵送費用をはじめ、オンラインの交流に必要なwifi等の通信費、そしてアスリートや病院との活動企画・運営に係る資金等をご支援いただいております。

【お問合せ先】

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan 理事長 北野華子

〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園 1-1 Tote 駒沢公園 301

Email: info@beingalivejapan.org

Homepage: <http://www.beingalivejapan.org>

TEL/FAX: 03-6432-3068